

藤江 民展

Finger Press Painting



Finger press painting 19 2022年 油絵具、和紙、パネル 410×318mm



Finger press painting 13
2022年
油絵具、和紙、パネル
273×220mm

藤江民は、1970年代に版画に手を染め、その後独自の転写技法によって、自由闊達かつ縦横無尽、色彩の横溢する作品を中心に50年近く精力的に制作してきた。藤江の手法は、狭義の版画の枠を超えるものだ。一見抽象的だが、抽象それ自体を追求しない。自在な筆触を主体に、それらが重なり、絡まり、あるいは打ち消しあって、画面全体が流動し、流動し、進むエネルギーそのものが形容しがたく立ち現れる。支持体の紙も、厚い紙の前に薄い紙を垂らしたり、天井から吊ったり、屋外で晒したり、大判の和紙を使った作品ではその表面をはがすなど、いわば紙の自由をも保証してきたと言っていだろう。

今回は小品が中心だから、藤江のダイナミックな作風を体験できないが、「Finger press painting」と名付けた新たなシリーズが登場する。従来使っていた筆や刷毛を用いず、「指」で油絵具をフィルムに延ばし、手の圧で和紙に転写したとのこと。指先は、絵具の粘り気や溶け具合が敏感に分かるので、刷毛などでは捉えられない感触を確かめながら、制作に挑んだに違いない。色彩の貫入や躍動がいつもより控えめで、記号的な筆触の断片が軽やかに談笑するような戯れ感が楽しめそうだ。

国立国際美術館館長 島 敦彦

玄 羅
gen ra

POST CARD

F U J I E T a m i

藤江 民展 Finger Press Painting

7月29日(金)～8月20日(土) 作家在廊日 7/29・30、8/6・13・20
12:00～17:00【水・木曜休み】※8月15日(月)休み

アート 〒920-0853 金沢市本町2丁目15-1 ポルテ金沢3F
玄 羅 TEL/FAX 076-255-0988 [ホテル日航金沢横]
g e n r a E-mail genraart@ozzio.jp
Web http://genraart.com f 玄羅アート



国の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに沿い、鑑賞環境には十分気をつけてまいります。
会期中、時短営業・臨時休業・入廊制限する場合がございます。

<略歴>

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1972 東京版画研究所でリトグラフを始める。 | 2000 村松画廊個展(東京) |
| 1975 第43回日本版画協会展[この年新人賞受賞] | 2001 「越境する女たち21」(東京・セルサイドフォーラム) |
| 1978 第12回日本国際美術展 | 2002 マイルストーンアートワークス個展(富山) |
| リトグラフ、銅版画の制作と共に転写による
独自技法の制作もはじめる。 | 2006 ギャラリー福果個展(東京) |
| 1979 現代芸術研究室個展(東京) | 2012 マイルストーンアートワークス&スタジオ個展vol.3
「生成絵画」(富山) |
| 東京から富山市に居を移す | 2016 トキアートスペース個展(東京) |
| 1981 「81富山の美術」展(富山県立近代美術館) | 2020 「藤江民作品集」刊行(桂書房) |
| 1984 村松画廊個展(東京) | 他にも、東京、富山、京都などの画廊で個展発表を重ねる。 |
| 1987 ギャラリーなつか個展(東京) | |
| 1988 第8回現代美術今立紙展 88(福井県今立町) | 取蔵:黒部市美術館、埼玉県立近代美術館、
富山県美術館、練馬区立美術館 |
| 1991 アートサイト個展(福井) | |
| 1994 村松画廊個展(東京) | |